

第 69 回応用物理学会春季学術講演会 P E 分科会インフォーマルミーティング

4. 春季および秋季学術講演会における分科会の企画について(古閑(代理:市来先生))

2021 年 3 月 23 日

応用物理学会 (東北大学&オンライン (ハイブリッド) 2022 年 9 月 20~23 日)

【シンポジウム (2 日目 9 月 21 日午後、4 時間程度を予定)】(説明:熊谷先生)

申請の流れ:4 月 18 日シンポジウム提案書〆切 (担当者:熊谷先生)。

4 月下旬審議 (本部での調整)、

5 月 16 日シンポジウム申請書〆切、

5 月 21 日に採択決定 (本部)、

6 月 6 日まで web で招待講演者情報登録。

6 月 21 日登壇申し込み〆切 (講演者)

6 月 27 日プログラム編集委員会@オンライン

【海外招待講演 (初日 9 月 11 日 13 時からを予定)】(説明:石川先生)

English session の plenary の位置づけとしての招待講演

先進プラズマ研究トピックスで分野をリードしている研究者を招待

プラズマが利用・応用される分野で著名な研究者を招いて、プラズマコミュニティーへのメッセージの位置づけ

旅費サポートあり。

候補については、以下の通り。GEC が日程が近いので欧米は来づらいかもしれない。

オンラインの場合、講演してもらいやすい。

Hae June Lee, Pusan National University: 計算もしくは機械学習

Annemie Bogaert, Antwerp University: 物質変換 (アンモニア)

Jane P Chang, Gyong Hwang: アジア系のバックアップ

【分科内招待講演】(大分類意見交換会で議論済み)

1. 各中分類プログラム編集委員の推薦により、他分野からの研究者を各中分類に招待講演している。この試みを実施する。

2. (今回は実施予定なし) 経験豊富な大学教員, 企業や国研の研究者等から, 主として若手研究者に向けて示唆に富んだ話をしていただく。

(従来の分科内招待講演者としての) 候補者の推薦をお願いいたします。

2022年秋季学術講演会 シンポジウム提案書

タイトル*	(日本語)	細胞運命を制御する応用物理：プラズマ・バイオ研究の融合による革新	
	(英語)	Applied Physics to controll cell fate: Innovation by plasma science and biotechnology	
代表世話人*	熊谷慎也 (名城大学)		
メールアドレス*	skumagai@meijo-u.ac.jp		
世話人	栗田弘史(豊橋技科大)		
内容の一番近い大分類*	8 プラズマエレクトロニクス		
想定される参加者の中分類*	8.4 プラズマライフサイエンス		
調整役*	栗田弘史(豊橋技科大)		
シンポジウム形態*	シンポジウム (technical)		
企画の趣旨 および 内容説明*	<p>【1】 企画の趣旨 細胞が外部からの刺激に応じて応答することは古くから知られている。研究者は、細胞に刺激を与えて、人にとって有用な細胞を創り出してきた。本シンポジウムでは、細胞の運命を制御するため、プラズマ科学をはじめとする応用物理がどのように貢献できるかについて議論する。</p> <p>【2】 企画母体 (分科会、支部、研究会等(もしあれば)) プラズマエレクトロニクス分科会</p> <p>【3】 想定できる参加者のコミュニティー (分科、分野等) プラズマエレクトロニクス、ナノバイオテクノロジー、医用工学・バイオチップ</p>		
開催希望日*	9月21日(水)		
開始・終了時間(予定)	開始 13:30 ~ 終了 18:00		
発表言語*	日本語		
参加予想人数*	150		
パネルディスカッションの有無*	無		
招待/一般 講演件数(予定)	招待講演 (30分) 6件	一般講演 (15分)	4件
一般講演の受け付け	一般講演の募集も受け付けることが原則となっています。一般講演を受け付けない場合はその理由をご記入ください。		
主な招待講演者 (予定)		氏名 (所属)	講演題目 (予定)
	1)	ライフサイエンス研究者	
	2)	プラズマバイオ研究者1	
	3)	プラズマバイオ研究者2	
	4)	マイクロデバイス研究者	
	5)	光バイオ研究者	
	6)	メカノバイオロジー研究者	
	7)		
8)			
その他	一般公開を希望される場合は、提案書提出前に理由とともに講演会担当へご連絡ください。別途審議を行います。		